

New わかものがかり

広島自治労連青年部 発行
広島県広島市中区大手町4丁目
2-27 中央レジデンスビル 405
TEL 082-243-9240
FAX 082-243-9241

Blog も
あるよ☆→



2012年
9月26日 13号



自治労連青年部第25回定期大会開催

青年の願いに応える活動を

全国119名が参加 多彩な活動を交流

8月25日(土)、愛媛県松山市で自治労連青年部第25回定期大会が開催され、21地方組織119名が参加しました。広島からの参加は、広島市職労・広島

市社会福祉事業団労組の5名でした。

大会では、昨年度の活動報告、運動方針が提起されたあと、全国から22名が発言し各地の活動を交流。広島は、外郭団体や非正規の青年を中心とした活動ががんばっていることを発言しました。(詳細は裏面)。

すべての議案が採択され、役員選挙では全員が信任。広島自治労連青年部部長の伊藤さんは、引き続き常任幹事を務めます。

平和や仕事について、学び語り合おう

これからの具体的な取り

組みとして、①平和と憲法を守る、②青年の要求を実現する、③学習・組織拡大が提起されました。広島でこれらの提起に対してどういう活動をしていくか、各労組で考え、来年1月までに何かしようと決めました。青年のみなさん、ぜひご参加くださいね～!

部長	熊谷 一会	(大阪)
副部長	加瀬 耕佑	(千葉)
書記長	岡崎 加奈子	(岡山)
書記次長	牛丸 豊	(佐賀)
常任委員	後藤 淳	(岩手)
	宮道 誠	(愛知)
	伊藤 亜也子	(広島)
	梶尾 拓生	(高知)

新役員

広島自治労連第23回定期大会

10月21日(土)10~17時

県社会福祉会館2階講堂にて

広島自治労連には、どういう職場のひとたちが集まっているのか、とってもよくわかる年に1度の機会です。青年組合員の学びの場として、ぜひ活用を! 参加希望の組合員は、それぞれの労組執行部に「傍聴参加したい!」と尝试みよう★

嘱託職員と外郭団体職員
を中心にがんばっている

活動は困難だけど 軌道に乗りつつある

～大会での広島の発言～

広島自治労連青年部は、自治体正規職員以外の青年が中心です。青年部役員もほとんどが外郭団体職員や嘱託職員です。月に1度の会議で、全国企画や県本部全体でできる活動について話し合っています。

交流企画はだいぶ盛り上げ られるようになってきた

5月には新規歓迎会をしました。女性部や執行部と一緒に企画を考え、準備してくれたため、44人も参加があり、大成功でした。7月はキャンプをしました。当日は19人が参加。お互いの仕事の話



発言する、広島市職労の岡くん

をし、それぞれが「大変だね」と労い合い、「また会おう」と別れました。

交流企画では、自治体正規・嘱託・外郭団体という、雇用形態は違っても同じ公務公共の仕事をする青年が仲良くなれます。しかし、切実な要求はだいぶ違うように感じました。そこで、今年は青年アンケートにも取り組みました。

青年アンケートで見える 正規・非正規の格差

正規職員の回答では、実家住まいで未婚の場合が多く、賃金への

不満はないが、仕事が忙しすぎるという側面も。中には「仕事を辞めたい」という回答もあり、深刻さを感じさせます。広島市職労青年部は、この集計結果を持って給与課長と懇談も行いました。

嘱託職員の回答では、実家住まいで未婚が多いのは同じですが、「生活も結婚もままならないこの仕事をずっと続けるかわからない」となどという低賃金の苦しさが出されています。

単組ごとの活動もがんばるゾ

全体として、「出会いの場がほしい」「交流したい」という思いが強いこともわかったので、県本部での交流企画は続けていきますが、交流以外の活動や、単組での活動活性化、そして仲間を増やすこともがんばりたいです。

大会参加者の 感想

多人数で活動している話を参考に、広島の活動を活性化しては？

—広島市職労 上高

他県の活動を聞いて、ある程度“数の力”は大事と感じました。加入数や活動参加人数の多いところは、言葉から感じる活気が違います。その土地ごとに培われてきた気風というものがあるのですが、参考にできる部分もあると思います。広島は小規模なので、大きな所と交流を持ち、アドバイスを受けるのもいいのかなと思いました。

全国で青年は厳しい状況に置かれているが、着実に歩み続けている —広島市社会福祉事業団労組 三宅

震災後も復旧・復興が遅々として進まず、政治も増税を始めとして社会が良い方向に向かわないどころか、かえって悪い方向に向かおうとしている現実に多くの人が声をあげているこの現状に対し、自治労連青年部として青年の意見を集約し運動を活発にして盛り上げていきたいという熱いメッセージを感じました。

その後の運動方針では青年の「やりがいがあるが収入が少ない」総職員数が減らされ、組合活動にダメージといった中で青年の雇用、賃金は大変な状況にあり人間らしい働きかた「ディーセントワーク」の考えに基づいた雇用、賃金の在り方を訴えることの大切さを感じました。

自治労連青年部 運動の基調

- 1 一人ひとりの組合員の声を重視し、青年労働者の多面的な要求実現をめざします。
- 2 すべての自治体・公務公共関係労働者を視野に、働きがい・生き甲斐を実感できる職場、青年の思いが届く社会の実現をめざし奮闘します。
- 3 青年同士のつながりをいかに、青年の団結と交流を深め、いきいきした青年部活動を進めます。
- 4 参加型学習教育活動を推進し、学習を基礎にした青年部活動を進めます。
- 5 全労連青年部に結集し、すべての青年を視野にいれ、「一致する要求」「一致できる要求」で広範な青年との共同をめざします。